

令和 6 年度

認知症に関する住民向けアンケート

結果報告書

令和 7 年 7 月

高齢福祉課

目次

【調査実施の概要】	1
1. 調査の目的	2
2. 調査設計	2
3. 調査項目	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
【調査結果の概要】	3
（1）認知機能の低下について	4
（2）認知症に対する取組状況について	4
（3）認知症に関する困りごとについて	4
（4）認知症に関する事業の認知度について	4
（5）認知症のイメージ、安心して暮らせる地域について	4
【調査結果の詳細】	5
・ アンケートを記入されるのはどなたですか。	6
問1 あなた（郵送のあて名の方）について	6
（1）性別と年齢について教えてください	6
・ 性別	6
・ 年齢	6
（2）同居している方について教えてください	6
・ 同居人の人数	7
・ 同居人との続柄（複数回答可）	7
（3）どこで暮らしていますか	8
・ 持ち家の場合	8
・ 借家の場合	8
（4）介護度について教えてください	9
（5）生活の中で、物忘れなど認知機能の低下を感じることはありますか	9
【年代別】	9
（6）グループ活動（サロン、趣味、運動やデイサービスなど2人以上での活動）の参加状況を教えてください。	10
（7）主催者側（運営スタッフ）として、ボランティア活動、地域活動をしていますか .	10

(8) 収入を得る仕事（常勤、アルバイト、パートなど）をしていますか	10
問2 認知症（物忘れなど認知機能が低下している状態）について	11
(1) あなたの身近に、認知症と思われる方がいますか	11
(2) その方はどなたですか（複数回答可）	11
(3) その方について、困っていることがありますか	11
【認知症で困っていることがある対象者別】	11
(3) 困っていることがある場合、具体的に教えてください（自由記述）	12
【困っていることの分類別】	12
(4) 認知症の予防（症状の悪化の防止を含む）として生活の中で意識していることを教えてください（複数回答可）	13
(5) 認知症についてどのようなイメージを持っていますか（自由記述）	14
問3 相談先について	15
(1) 認知症について、あなたがご存じの相談先を教えてください（複数回答可）	15
問4 認知症に関する取組について	16
(1) 認知症予防や認知症への支援について知っていることを教えてください	16
(1) 認知症予防や認知症への支援について必要性のお考えについて教えてください ...	16
(2) 認知症になっても安心して暮らせる地域はどういった地域だと思いますか（自由記述）	17
(3) 認知症に関する取組について期待することやご意見など（自由記述）	18
問5 大友式認知予測テストの点数	19
【年齢別】	19
【アンケート調査票】	20

【調査実施の概要】

1. 調査の目的

令和6年1月に認知症基本法が施行され、認知症基本法を踏まえた対応が求められております。また、本市においては、後期高齢者の増加に伴い、認知症の方への支援の強化が必要となっております。そこで、実効性のある認知症施策を遂行するための基礎資料となるよう、アンケート調査を実施することといたしました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象：茅ヶ崎市に居住する満65歳～84歳の市民
- (2) 対象者数：3,000名（住民基本台帳から無作為抽出）
- (3) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (4) 調査期間：令和6年12月4日から12月26日

3. 調査項目

- (1) 基本的属性等
（性別、年齢、同居人、居住場所、介護度、認知機能、グループ活動、就労状況）
- (2) 認知症について
- (3) 相談先について
- (4) 認知症に関する取組について
- (5) 大友式認知症予測テスト

4. 回収結果

有効回収数 1,782件（有効回収率 59.4%）

5. 報告書の見方

- ①図表中の「n」（number of caseの略）は、集計対象者数総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- ②調査結果の割合は、その設問の回答者数（n）を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、端数処理の関係で合計が100.0%にならない場合があります。
- ③複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- ④本文や図表中の選択肢標記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

【調査結果の概要】

本調査の結果から、65 歳～84 歳の市民における認知症に関する意識や実態について整理します。また、65 歳～84 歳の市民における認知症に対する取組状況や認知症に関する事業の認知度を整理します。

（１）認知機能の低下について

生活の中で、物忘れや認知機能の低下を感じることはありますかという設問に対して「頻繁にある」と「ときどきある」の割合の合計は 44.7%であり、年齢が上がるごとにその割合は増加しています。また、大友式認知症予測テストにおいても、年齢が上がるごとに「正常」の割合は下がり、「要注意」「要診断」の割合は微増しています。

（２）認知症に対する取組状況について

認知症の予防（症状の悪化の防止を含む）として生活の中で意識していることについて何かしらの「取組をしている」の割合は、74.7%と、高い割合となっています。具体的には、「定期的な運動（52.4%）」「バランスの取れた食事（51.8%）」「定期的な健康診断（46.4%）」の順になっています。

（３）認知症に関する困りごとについて

身近に認知症と思われる方が「いる」の割合は 26.1%、このうち「知り合い、近所の人」が 54.8%、「家族」が 34.6%、「自分」が 3.9%でした。

身近に認知症と思われる方がいる場合の困っていることについて「困っていることがある」の割合は、24.9%となっています。その対象が「知り合い、近所の人」の場合は 34 件である一方、「家族」の場合は 69 件でした。

（４）認知症に関する事業の認知度について

認知症について、知っている相談先は「病院・診療所（43.1%）」が最も多く、次いで「地域包括支援センター（39.1%）」が多くなっています。また、「知らない」と回答した人は 27.9%でした。

認知症予防や認知症への支援について知っていることについて、「自宅で利用できる介護サービス（67.6%）」や「成年後見制度（61.0%）」「認知症の人が入所できる施設（54.5%）」の割合が高く、「認知症カフェ、ちがさきオレンジDay（7.5%）」や「にこにこクラブ・うみの会（5.1%）」「チームオレンジ（4.8%）」の認知度は低くなっています。

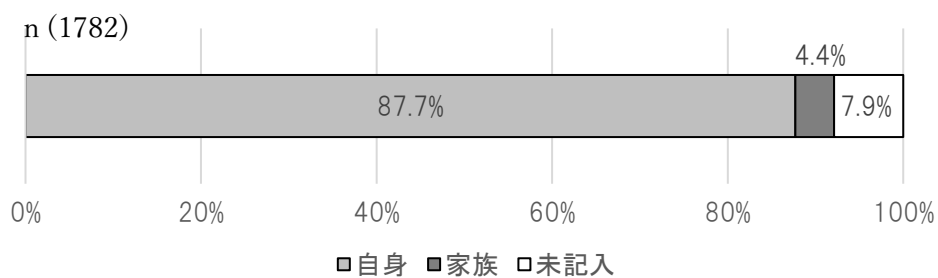
（５）認知症のイメージ、安心して暮らせる地域について

認知症についてのイメージは「認知症の症状・特徴（206 件）」を挙げる回答が最も多く、次いで「認知症への不安・恐怖（158 件）」であり、「認知症を受け入れる意見」は 78 件でした。

また、認知症になっても安心して暮らせる地域については「地域の見守り・支え合い（260 件）」「介護・福祉サービスの充実（114 件）」「認知症の理解・啓発（75 件）」「相談・支援体制の充実（71 件）」の順になっています。

【調査結果の詳細】

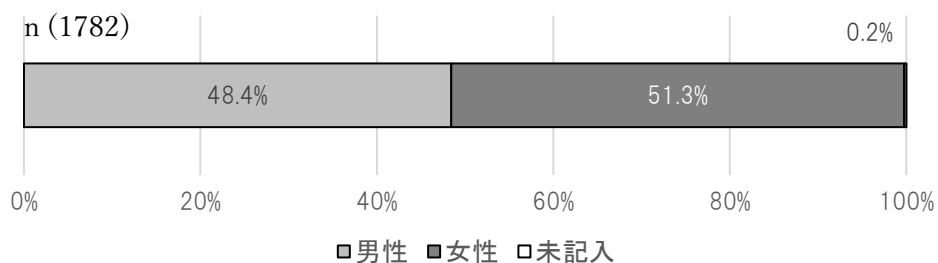
・アンケートを記入されるのはどなたですか。



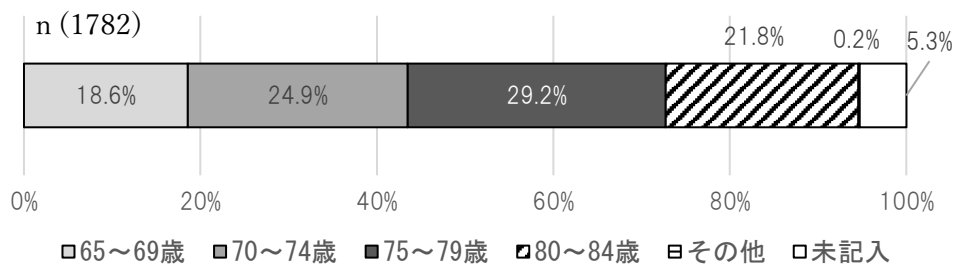
問1 あなた（郵送のあて名の方）について

（1）性別と年齢について教えてください

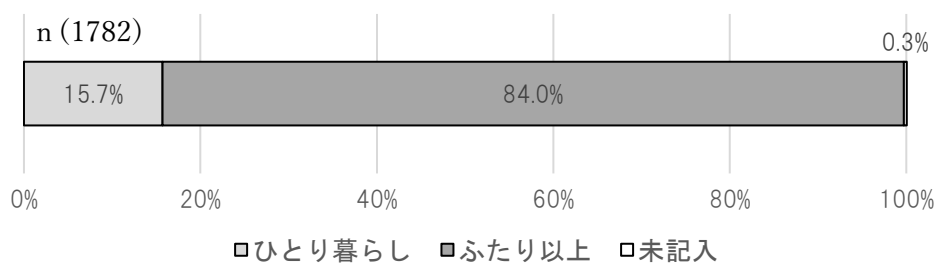
・性別



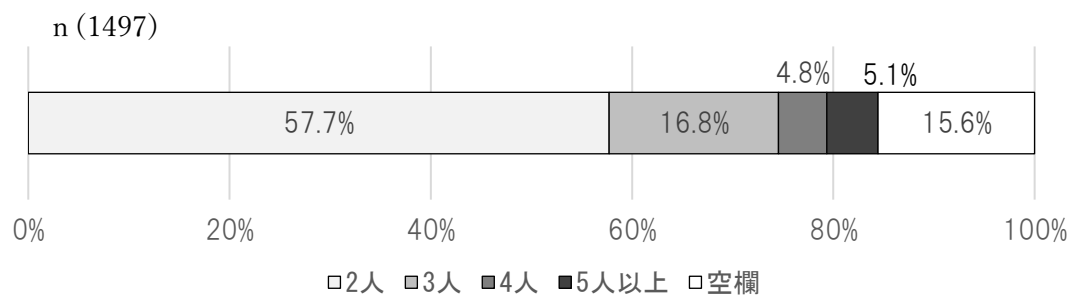
・年齢



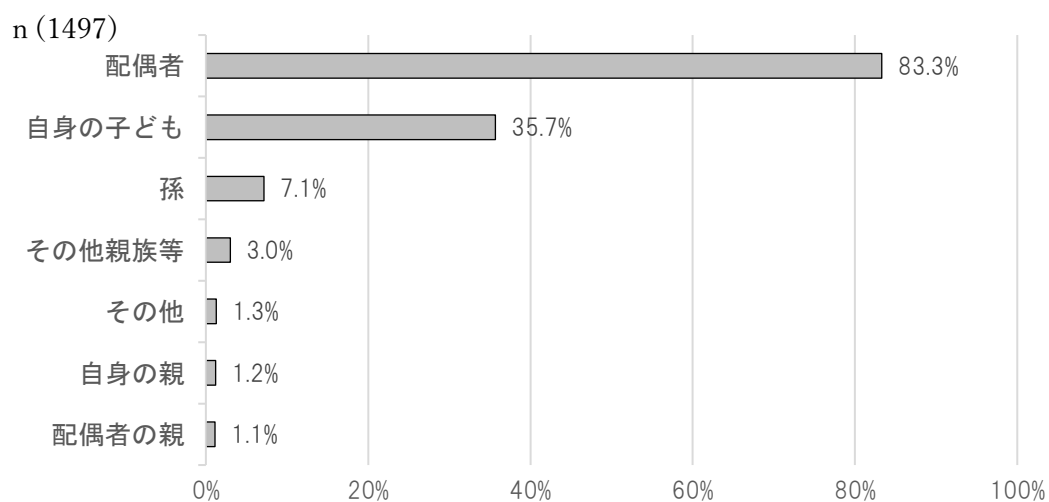
（2）同居している方について教えてください



・同居人の人数

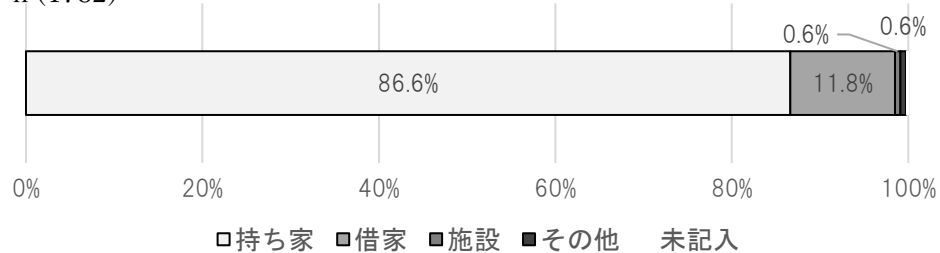


・同居人との続柄（複数回答可）



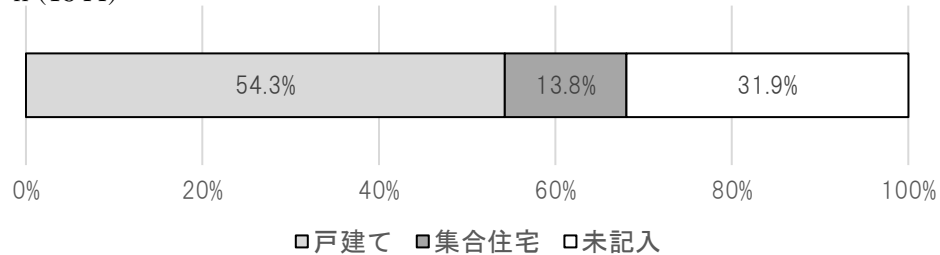
(3) どこで暮らしていますか

n (1782)



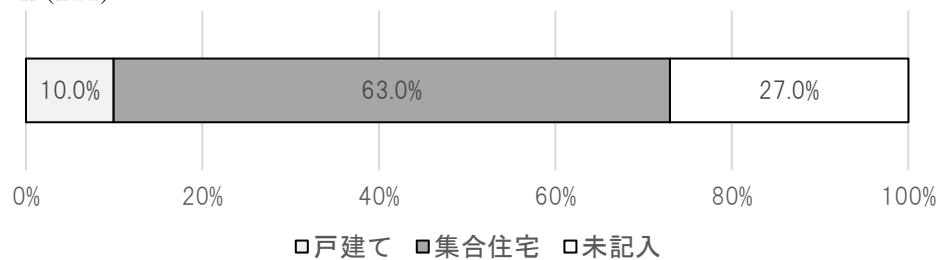
・持ち家の場合

n (1544)

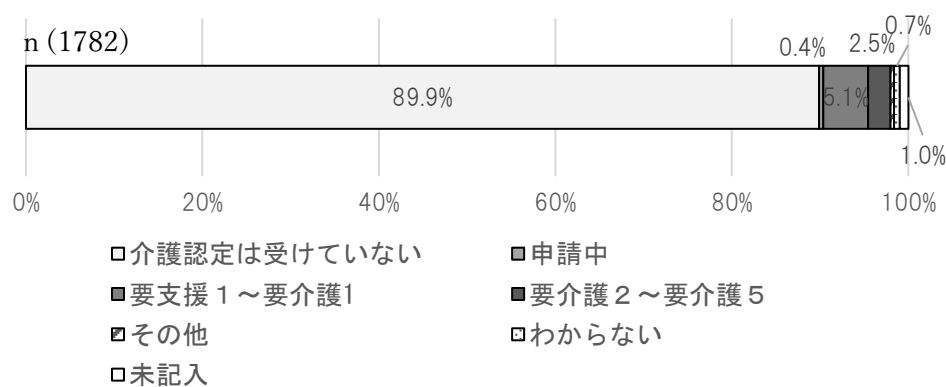


・借家の場合

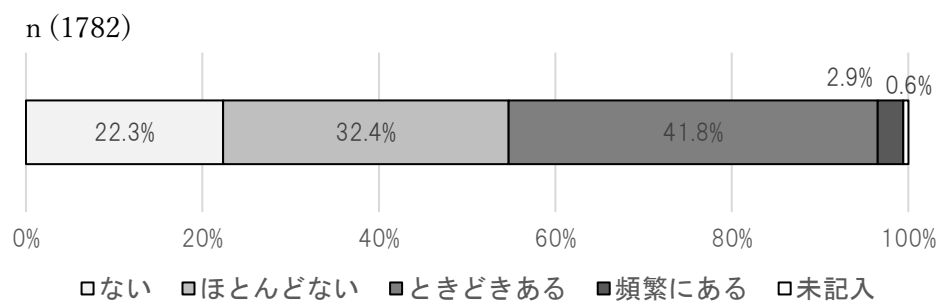
n (211)



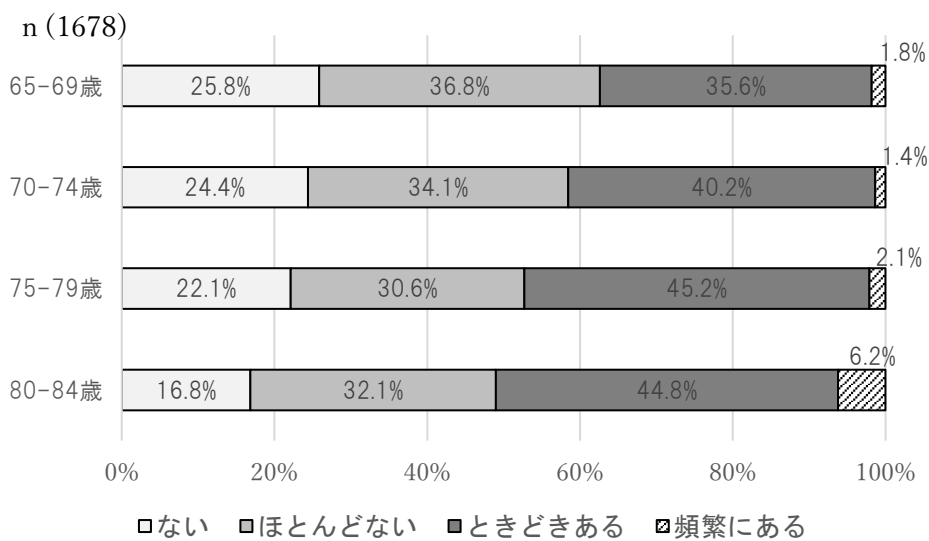
(4) 介護度について教えてください



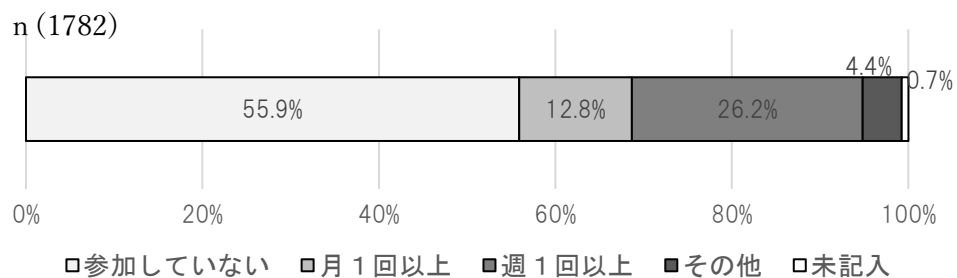
(5) 生活の中で、物忘れなど認知機能の低下を感じることはありますか



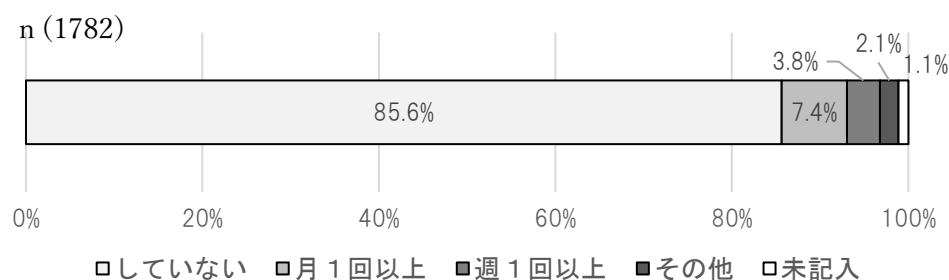
【年代別】



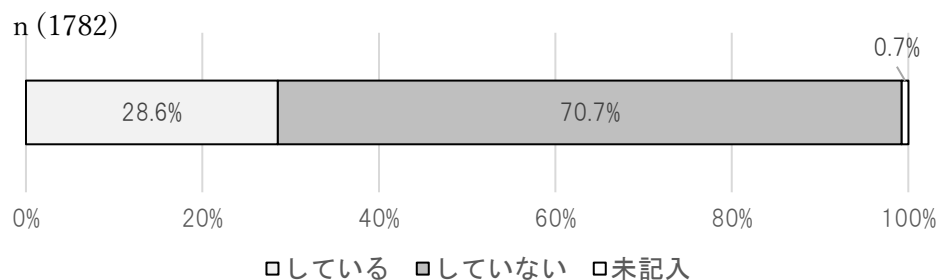
（６）グループ活動（サロン、趣味、運動やデイサービスなど２人以上での活動）の参加状況を教えてください。



（７）主催者側（運営スタッフ）として、ボランティア活動、地域活動をしていますか



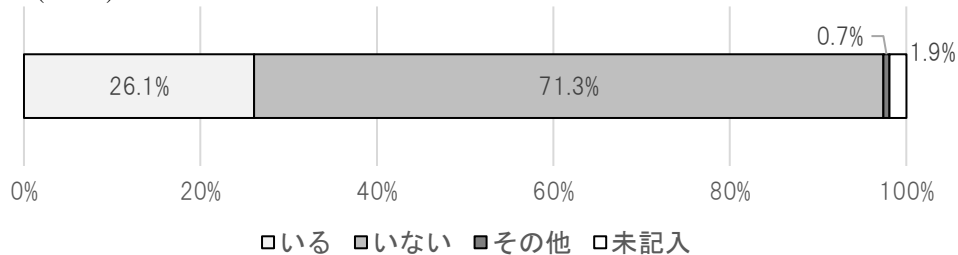
（８）収入を得る仕事（常勤、アルバイト、パートなど）をしていますか



問2 認知症（物忘れなど認知機能が低下している状態）について

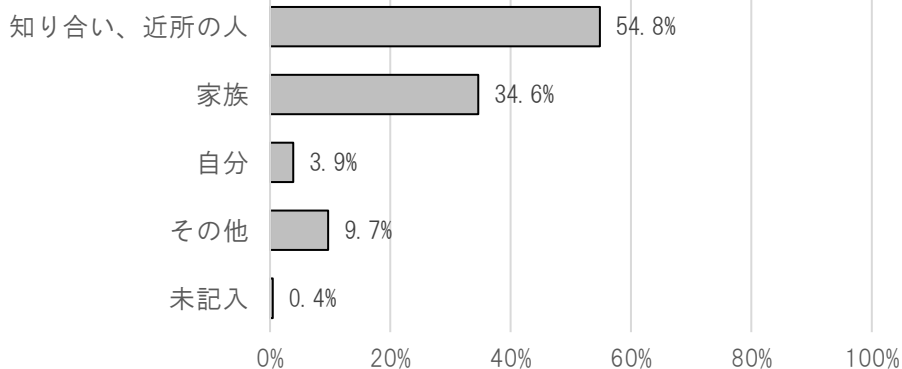
（1）あなたの身近に、認知症と思われる方がいますか

n (1782)



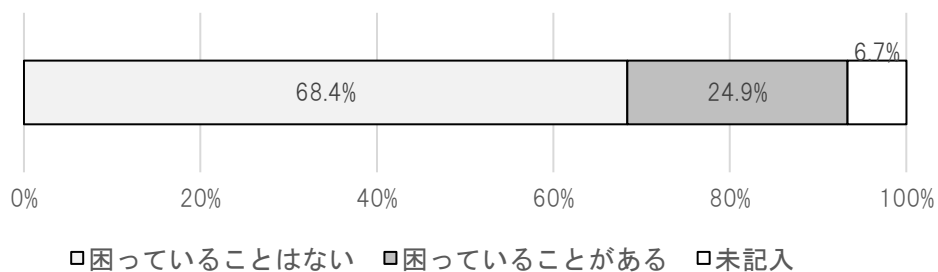
（2）その方はどなたですか（複数回答可）

n (465)



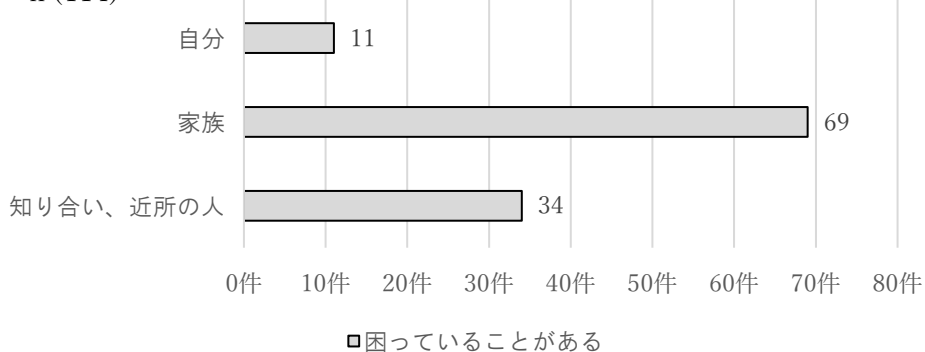
（3）その方について、困っていることがありますか

n (465)



【認知症で困っていることがある対象者別】

n (114)



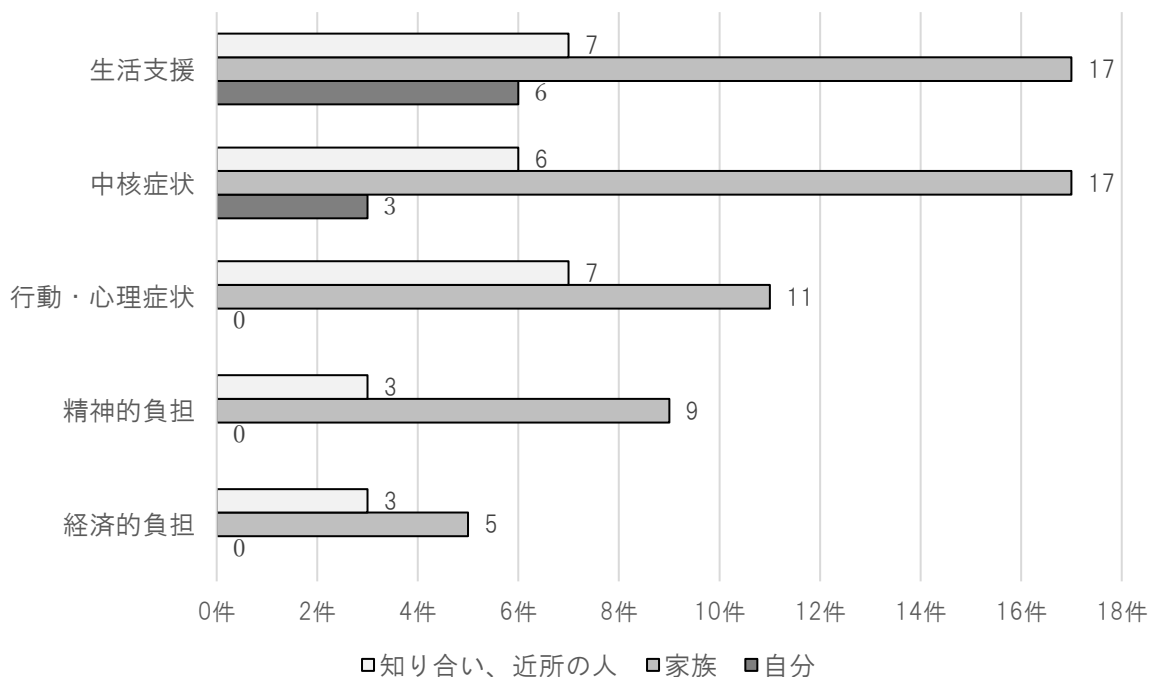
(3) 困っていることがある場合、具体的に教えてください（自由記述）

困っていることについて、回答内容を「生活支援」「中核症状」「行動・心理症状（BPSD）」「精神的負担」「経済的負担」の5つに分類しました。

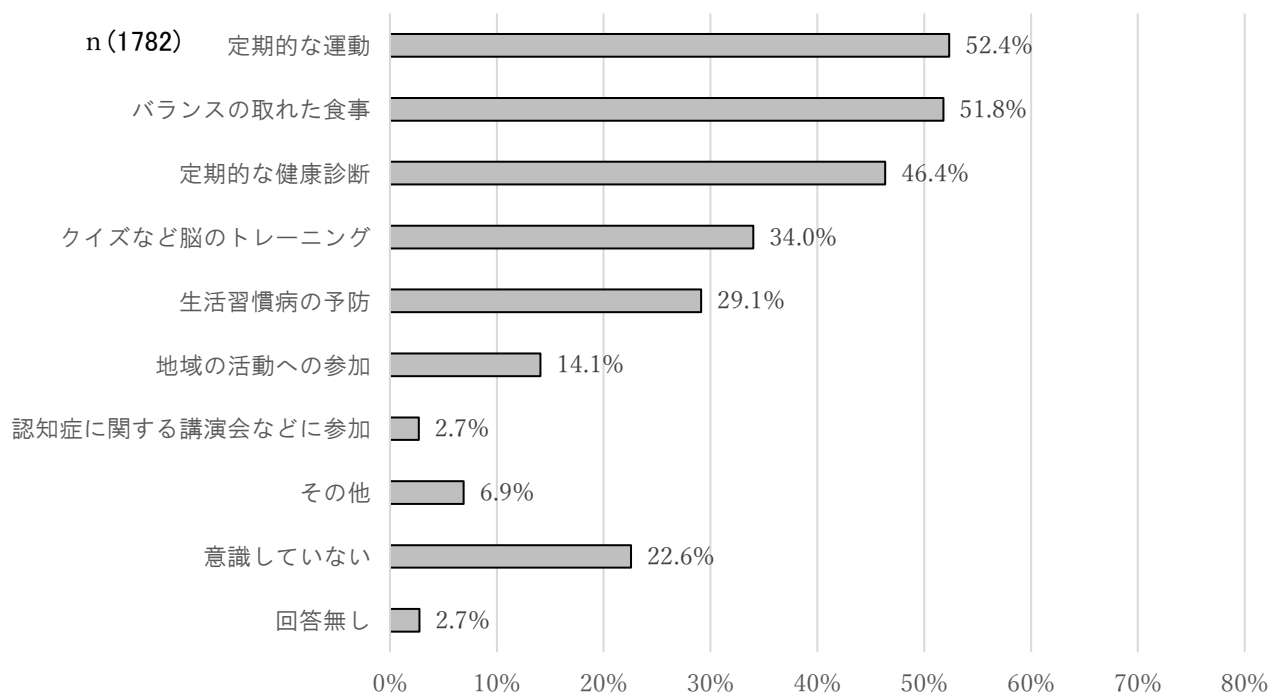
主な回答内容	分類	件数
・生活面、社会面で単独では行動できないことが多く援助が必要なこと ・1人住まいのため病院にて見守りの人の名前を書くように言われるが、代理人がいない	生活支援	30
・日時、曜日、予定をよく忘れる ・話したことを忘れる。何度も言わないとならない。	中核症状	26
・自分の家に泥棒が入ったと騒ぐ、近所の悪口をいいふらす ・怒りっぽくなった	行動・心理症状(BPSD)	18
・この先どうなっていくのかという精神的な不安 ・認知症と思われるが、本人は認めず、病院に行くのを嫌がる	精神的負担	12
・施設入所の費用 ・有料老人ホームに入居しているが、経済的に困っているから退去しようとしている。自宅での介護が不安。	経済的負担	8

【困っていることの分類別】

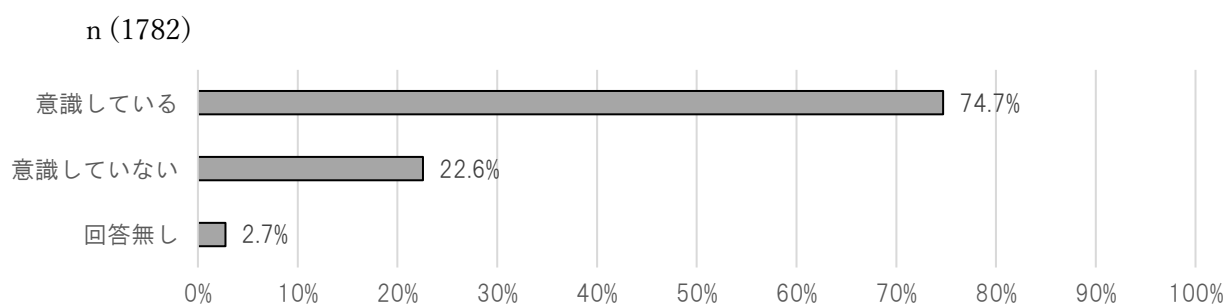
n (94)



（４）認知症の予防（症状の悪化の防止を含む）として生活の中で意識していることを教えてください（複数回答可）



【参考】認知症の予防（症状の悪化の防止を含む）として生活の中で意識していることの有無



(5) 認知症についてどのようなイメージを持っていますか（自由記述）

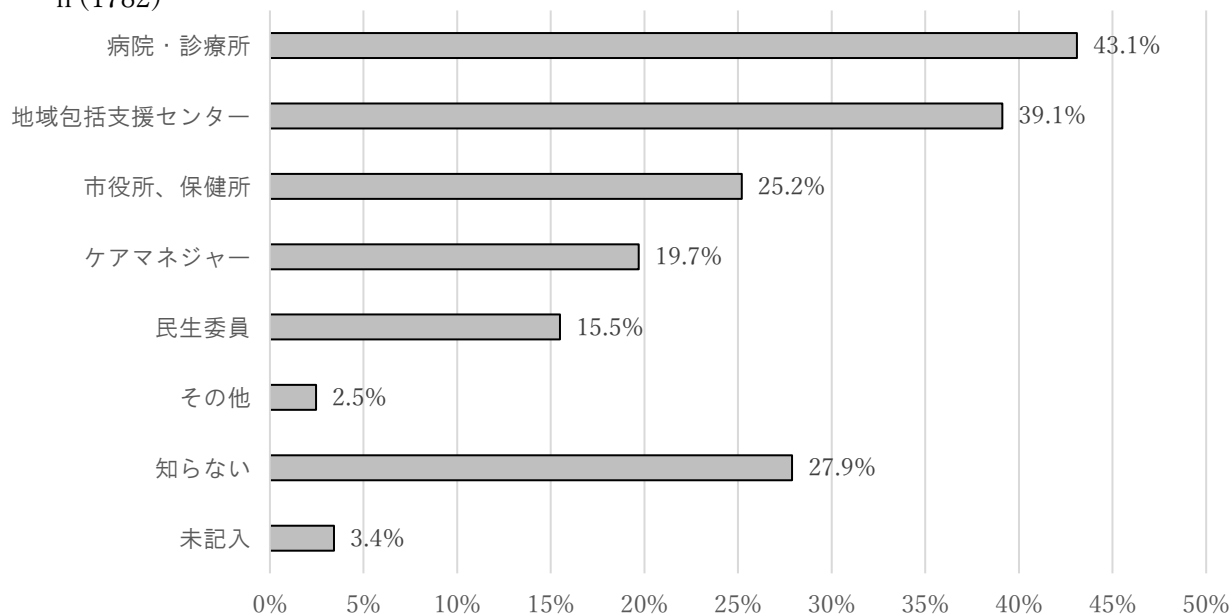
認知症のイメージについて、回答内容を「認知症の症状・特徴」「認知症への不安・恐怖」「家族・介護の負担」「認知症を受け入れる意見」「予防への関心」「認知症の社会的対応の必要性」の6つに分類しました。

主な回答内容	分類	件数
・物忘れ、徘徊する。 ・自分の身の回りのことができなくなったり、周りの人に迷惑をかける。	認知症の症状・特徴	206
・社会生活が出来なくなるとの恐怖心がある、施設に入るしかないとも考えている。 ・記憶力や認知機能が低下し、次第に日常生活が困難になる。家族に迷惑をかけることになるので、一番なりたくない病気。	認知症への不安・恐怖	158
・介護負担による家族の疲弊、意思疎通が困難。 ・父がアルツハイマー型認知症で、母が大変苦勞しました。どうしても隠そうとしてしまう心理（恥ずかしいと思ってしまう、知られたくないという気持ち）が強かった。	家族・介護の負担	98
・老化現象と思う。できるだけ寄り添っていきたい。 ・誰でもなる可能性があり、もちろん自分も可能性がある。社会的には認知症に対する理解が以前より進んでいるように感じる。	認知症を受け入れる意見	78
・趣味などの活動を通して、できるだけ社会（友人など）と関わることで、認知症を防ぐことができると考えている。 ・毎日運動したり脳トレその他を習慣にしているようにしている。	予防への関心	71
・どうして認知症になってしまうのか・・・原因がわからないので原因を究明して欲しい。 ・高齢化社会の進展に伴って増加してきた現象だと思います。個人や家族の力だけでは対応不可能であり、行政、民間を問わず社会全体で対応すべき課題だと思います。	認知症の社会的対応の必要性	36

問3 相談先について

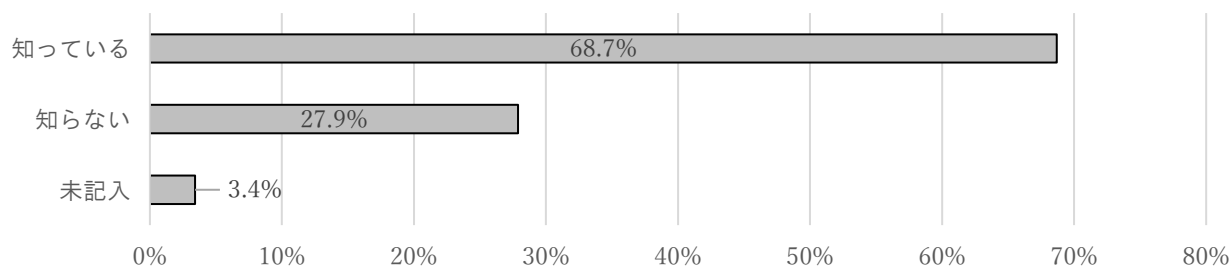
(1) 認知症について、あなたがお存じの相談先を教えてください(複数回答可)

n(1782)



[参考]認知症について相談先の認知度

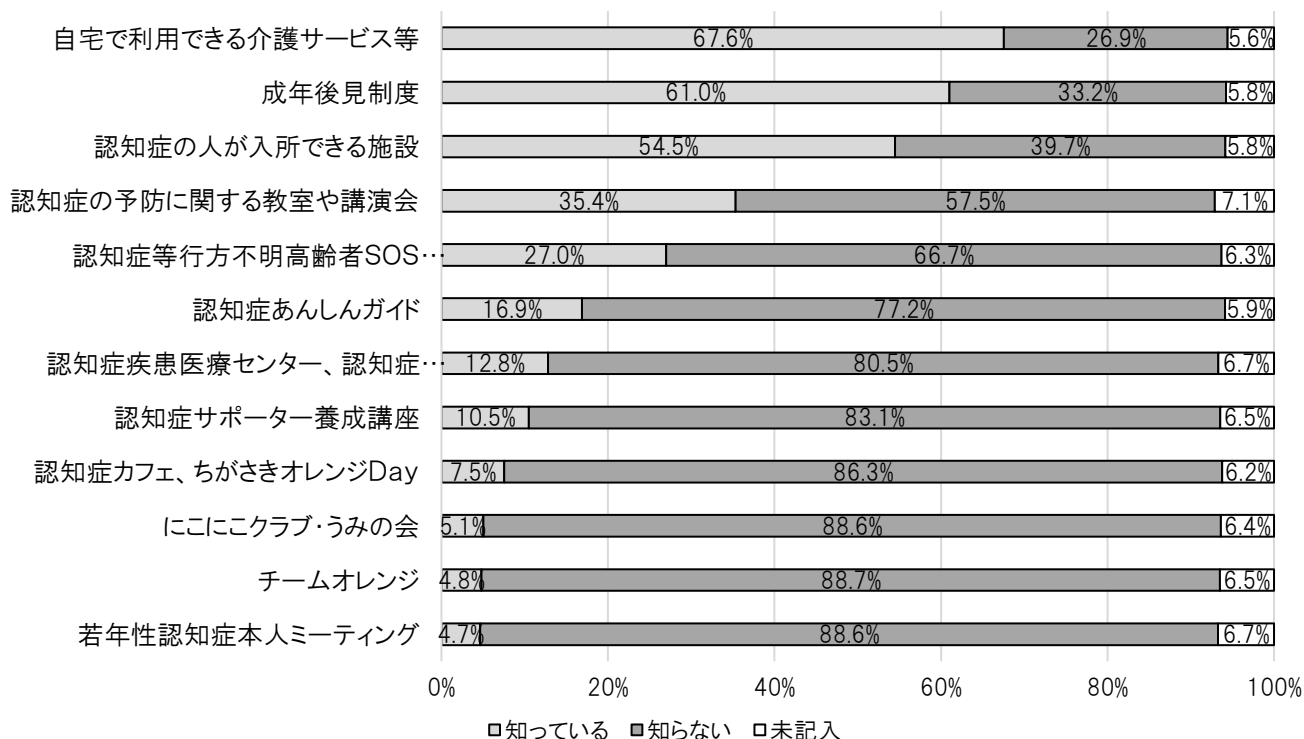
n(1782)



問4 認知症に関する取組について

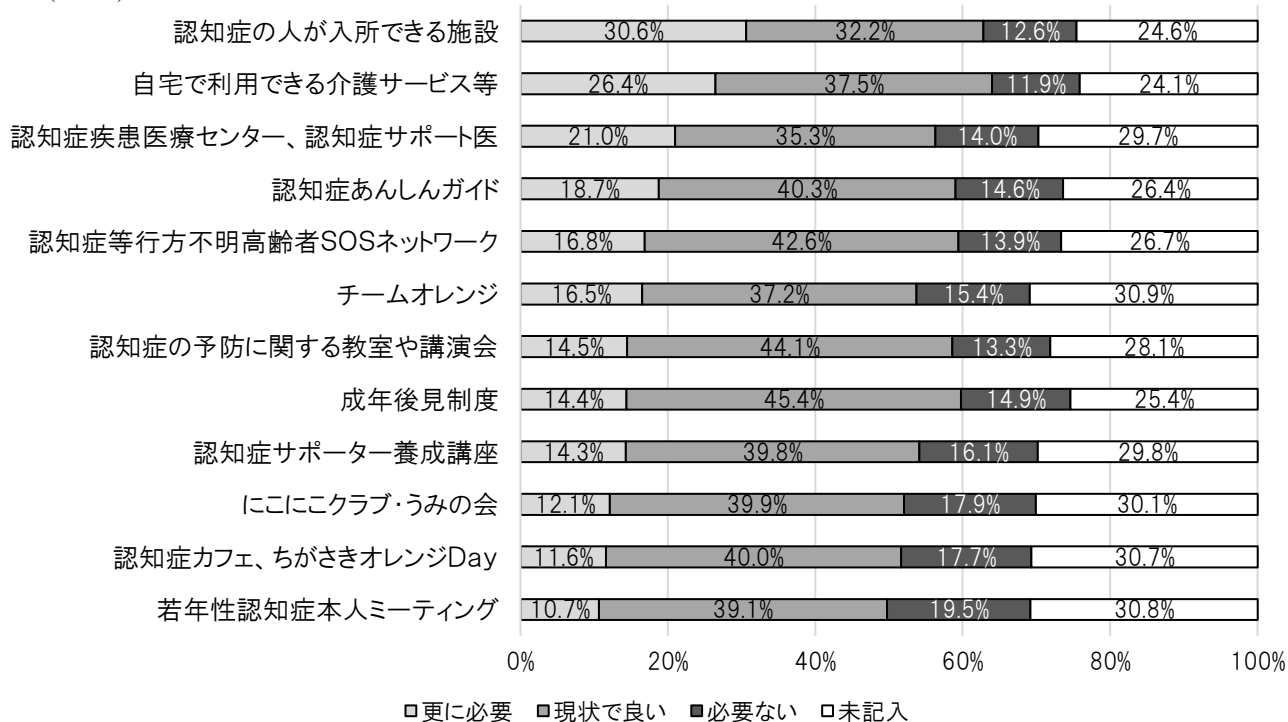
(1) 認知症予防や認知症への支援について知っていることを教えてください

n(1782)



(1) 認知症予防や認知症への支援について必要性のお考えについて教えてください

n(1782)



(2) 認知症になっても安心して暮らせる地域はどういった地域だと思いますか (自由記述)

認知症になっても安心して暮らせる地域について、回答内容を「地域の見守り・支え合い」「介護・福祉サービスの充実」「認知症の理解・啓発」「相談・支援体制の充実」「行政の役割と環境整備」の5つに分類しました。

主な回答内容	分類	件数
・隣近所で声をかけあい、認知症の方を受け入れ地域全体で偏見なく自然の形で見守ることができると良い。家族も認知症である家族を公表して地域の人の協力を得られる様な体制ができると良い。 ・普段からのご近所での交流で顔見知りになっていることが必要。一人暮らしで家に引きこもっている人も多いので、気軽に参加できる運動や交流ができる機会が近所にあるとよい。	地域の見守り・支え合い	260
・買い物や通院などの移動支援。在宅生活を支える各種介護サービスなどの充実 ・住み慣れた場所で生活がつづけられるために地域の施設に入所しやすいと安心	介護・福祉サービスの充実	114
・認知症を自分や家族のこととして考えること。認知症を広く知ってもらい地域での教育と対応を実践できる地域であること ・認知症は誰でもなり得る病気だと理解し偏見を持つ人が少なくなしてほしい	認知症の理解・啓発	75
・そこに連絡すれば何らかの情報やサポートが確実に得られる組織がどの地域にもあり、横の連携もしっかりしていることが大事 ・いつでも相談に乗って頂ける窓口が身近にあること。認知症をかかえる家族にいてねいに説明し安心を与える人の存在。	相談・支援体制の充実	71
・官民、行政と住民とのネットワークが良いこと。共助があってなり立つが、ひとりがかかえこまないで、お互いが精神的に経済的に又健康で安心安全で過ごせる様な所 ・ある程度の年齢に達すると市による事前の認知症テストの実施や認知症になったときにもサポート制度の存在や研修の周知があるとよい	行政の役割と環境整備	69

(3) 認知症に関する取組について期待することやご意見など（自由記述）

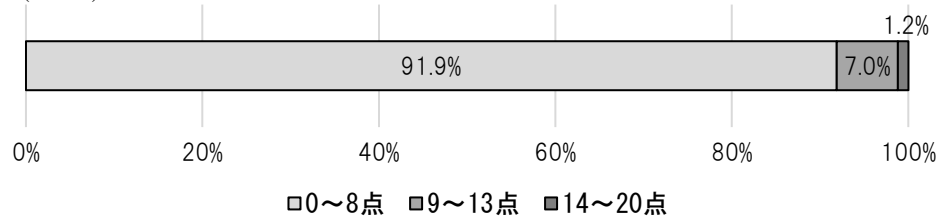
認知症基本法における基本的施策に基づいて分類しました。

主な回答内容	分類	件数
・少なからず、ほとんどの人が通過する道だと思つたため、若い世代から認知症に対する知識を持つため、学校教育で「認知症とは」が理解できるよう、期待する。会社での取り組みがあればいいと思う ・誰もがなる可能性があるため、どんなサポートがあるのかを知りたいため、認知症に関する取組をもっと広く広報してほしい	認知症の人に関する国民の理解の増進等	74
・認知症の高齢者が独居でも自分の家で暮らせるような地域の取り組みができればいいと思う ・GPS をつける。名札等。非常に難しいと思うが、認知症の方に家族の理解で腕に腕章（色付きリボン）をつける環境にできれば見回りで見た人たちが気にかけて対応するのではないかと思います	認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進	28
・認知症カフェの場所や回数を増やし、高齢者が孤立しないようにしてほしい。保育園児や幼稚園児と接する機会を与えてくれることに期待。 ・「にこにこクラブ」のような認知症家族が集える場所を増やしてほしい。曜日、時間など色々選択できればもっと多くの家族の方が参加できると思う	認知症の人の社会参加の機会の確保等	45
・今後自分がどうなるか心配なので、判断力のあるうちにできることや、やっておいたほうがいいことなどを教えてほしい。症状の程度にもよるが、できるだけ本人の意志のままに介護やサービスを利用したい ・成年後見人制度をもっと進化させた形、死後整理のことなど行政が責任をもつてくださる部署があるとありがたい	認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護	17
・認知症疾患医療センター、認知症サポート医の充実を期待する ・行政と民間が手を取り合って施設や介護サービス、予防（サービス）方法を充実させることに期待する	保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等	107
・認知症の初期の時に気軽に相談できるところ、本人が自ら進んで相談に行ってくれるような仕組み。最初の一步が難しい。家族から本人に説得するのが難しい。本人が病院に行きたがらない場合、どうすればいいのかわからない ・地域内にアドバイザーやサポーターが存在すること。話を聞いてくれる人がいたり、ゆっくり過ごせるところ。家族が悩んだり助けを求めている人が多いと思う。1人で悩まない環境づくりを望む	相談体制の整備等	86
・全国や海外で高齢化にどのように取り組み、成果をあげているか調査し、積極的に参考にしてほしい。 ・今、取り組んでいる仕組みや努力が良い方向、結果に結びつくよう試行錯誤をしながら、より良く改善されていくよう、期待する	研究等の推進等	20

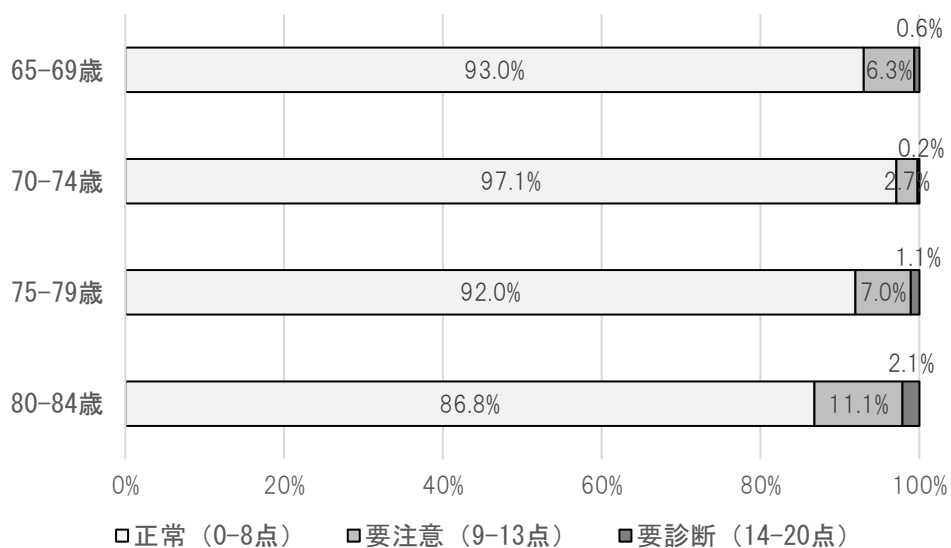
・認知症を自覚して自ら診察を受けるのはなかなか難しいと思う。定期検診のなかに脳の検査や専門家との面談、認知症検査等を取り入れ、早期発見・治療に結びつけられる仕組みづくり。初期症状を早く見つける取り組みに期待 ・予防に関する資料や教室の充実	認知症の予防等	60
--	---------	----

問5 大友式認知予測テストの点数

n(1782)



【年齢別】



【アンケート調査票】

認知症についてのアンケート調査にご協力ください



アンケートを記入されるのはどなたですか(該当する番号に○をつけてください)

1. 郵送のあて名の方ご自身が記入
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみた続き柄 _____)
3. その他(_____)

***アンケートの回答は、郵送のあて名の方のことについて、ご記入ください**

問1 あなた(郵送のあて名の方)について

(1)性別と年齢について教えてください

1. 男性
2. 女性 (_____)歳

(2)同居している方について教えてください(ひとつだけ○)

1. ひとり暮らし
2. ふたり以上(_____ 人)→(下の[]で該当するすべてに○)

[配偶者(パートナーを含む) ・ ご自身の子ども ・ ご自身の親 ・ 孫
配偶者の親 ・ その他の親族・家族 ・ その他(_____)]

(3)どこで暮らしていますか(ひとつだけ○)

1. 持ち家(戸建て ・ 集合住宅)
2. 借家(戸建て ・ 集合住宅)
3. 施設
4. その他(_____)

(4)介護度について教えてください(ひとつだけ○)

1. 介護認定は受けていない
2. 申請中
3. 要支援1・要支援2・要介護1
4. 要介護2・要介護3・要介護4・要介護5
5. その他(_____)
6. わからない

(5)生活の中で、物忘れなど認知機能の低下を感じることはありますか(ひとつだけ○)

1. ない
2. ほとんどない
3. ときどきある
4. 頻繁にある

(6)グループ活動(サロン、趣味、運動やデイサービスなど2人以上での活動)の参加状況を教えてください(ひとつだけ○)

1. 参加していない
2. 月1回以上
3. 週1回以上
4. その他(_____)

(7)主催者側(運営スタッフ)として、ボランティア活動、地域活動をしていますか(ひとつだけ○)

1. していない
2. 月1回以上
3. 週1回以上
4. その他(_____)

(8)収入を得る仕事(常勤、アルバイト、パートなど)をしていますか(ひとつだけ○)

1. している
2. していない

問2 認知症(物忘れなど認知機能が低下している状態)について

(1) あなたの身近に、認知症と思われる方がいますか(ひとつだけ○)

1. いる 2. いない 3. その他()

(2) (1)で「1. いる」と回答した方にお伺いします。
 その方はどなたですか(該当する番号すべてに○)

1. 自分 2. 家族 3. 知り合い、近所の人
4. その他（具体的に教えてください）

(3) (1)で「1. いる」と回答した方にお伺いします。
困っていることがありますか（ひとつだけ○）

1. 困っていることはない
2. 困っていることがある
→（具体的に教えてください。）

(4) 認知症の予防(症状の悪化の防止を含む)として生活の中で意識していることがあれば教えてください(該当する番号すべてに○)

1. 意識していない
2. バランスの取れた食事
3. 定期的な運動
4. 定期的な健康診断
5. 生活習慣病の予防
6. 地域の活動への参加
7. クイズなど脳のトレーニング
8. 認知症に関する講演会などに参加
9. その他（

(5) 認知症についてどのようなイメージをお持ちですか(自由記載)

問3 相談先について

(1) 認知症について、あなたがご存じの相談先を教えてください(該当する番号すべてに○)

1. 知らない 2. 病院・診療所 3. 地域包括支援センター
4. 民生委員 5. ケアマネジャー 6. 市役所、保健所
7. その他()

問4 認知症に関する取組について

(1) 認知症予防や認知症への支援について教えてください(【ア】と【イ】の両方に回答)

お尋ねしたい内容	【ア】	【イ】
	知っている→○ 知らない→×	更に必要→◎ 現状で良い→○ 必要ない→×
1. 認知症あんしんガイド (認知症の症状や支援等の情報を紹介している冊子)		
2. 認知症等行方不明高齢者SOSネットワーク (関係者への連絡や市民への搜索依頼による早期発見・保護)		
3. にこにこクラブ・うみの会 (認知症の方を抱える家族や介護者同士が悩み等を話し合う場)		
4. 若年性認知症本人ミーティング (認知症の当事者同士が話をする場)		
5. 認知症カフェ、ちがさきオレンジDay (認知症の方や家族が気軽に参加できるイベント、認知症の理解促進)		
6. 認知症疾患医療センター、認知症サポート医 (認知症の診療や相談などの推進役となる病院や医師)		
7. 認知症サポーター養成講座 (認知症や対応等を学び、認知症の人を見守るための講座)		
8. チームオレンジ (認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの具体的活動)		
9. 成年後見制度 (判断力の低下等のある方の財産等を保護する制度)		
10. 認知症の人が入所できる施設 (グループホーム、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム等)		
11. 自宅で利用できる介護サービス等 (デイケア、ショートステイ、訪問介護・看護、福祉用具貸与等)		
12. 認知症の予防に関する教室や講演会 (転倒予防や歌体操教室、歯科講演会、公園体操等)		
13. その他(自由記載) (		)

(2) 認知症になっても安心して暮らせる地域はどういった地域だと思いますか(自由記載)

(

)

(3) 認知症に関する取組について期待することやご意見など(自由記載)

(

)

問5

あなた(郵送のあて名の方)について、あてはまる点数に○をつけてください
これは大友式認知症予測テストになります(認知症予防財団HP)

質問項目	ほとんどない	時々ある	頻繁にある
(1)同じ話を無意識に繰り返す	0点	1点	2点
(2)知っている人の名前が思い出せない	0点	1点	2点
(3)物のしまい場所を忘れる	0点	1点	2点
(4)漢字を忘れる	0点	1点	2点
(5)今しようとしていることを忘れる	0点	1点	2点
(6)器具の説明書を読むのを面倒がる	0点	1点	2点
(7)理由もないのに気がふさぐ	0点	1点	2点
(8)身だしなみに無関心である	0点	1点	2点
(9)外出をおっくうがる	0点	1点	2点
(10)物(財布など)が見当たらないことを他人のせいにする	0点	1点	2点
(1)から(10)の合計を計算 ▶			点

チャレンジしてみよう! 認知症プチクイズ

Q. 茅ヶ崎市内に認知症の人(疑いも含む)は何人ぐらいいると思いますか

ア. 約500人 イ. 約5,000人 ウ. 約15,000人 エ. 約50,000人

Q. 認知症の中核症状(脳細胞の働きの低下)によるものはどれでしょうか(5つ)

ア. 経験したことを忘れる
イ. 物が盗まれたと言い出す
ウ. 現実にはないものが見える
エ. 日時、季節、場所、人などがわからなくなる
オ. 考えるスピードが遅くなる
カ. 計画を立てて段取りすることができなくなる
キ. 状況判断が苦手になる
ク. 大きな声を上げる、攻撃的な言動が増える

Q. 認知症の方への基本的な対応で大切な「3つの『ない』」はどれでしょうか(3つ)

ア. 驚かせない
イ. 視線を合わせない
ウ. 急がせない
エ. 話しかけない
オ. 自尊心を傷つけない
カ. 過去の話をしてない

◆◆以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。◆◆

このアンケートは、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月26日(木)までにご投函ください。

令和 6 年度 認知症に関する住民向けアンケート
結果報告書

令和 7（2025）年 7 月

編集・発行 茅ヶ崎市 福祉部高齢福祉課

〒253－8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号

電話：0467－81－7163（直通）

ホームページ

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/otoshiyori/1051418/1064154.html>

